

令和3年度決算のあらまし

令和3年度決算が、令和4年6月27日に開催された組合会で承認されましたので、その概要をお知らせします。

1 共通事項

(1) 団体数及び組合員数

【団体数】： 31団体

【組合員数】

- ◇ 組合員数は、前年度より66人増加となりました。
- ◇ 被扶養者数は、前年度より657人減少となりました。
- ◇ 1人当たりの年間掛金額は984,388円で、うち68%は長期給付(年金)分が占めています。

(単位:人、円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減	
組合員の数	127,104 人	127,038 人	66 人	
被扶養者の数	90,485 人	91,142 人	△ 657 人	
組合員 1人当たりの 掛金額	短期給付	298,914 円	305,192 円	△ 6,278 円
	長期給付	672,397 円	676,728 円	△ 4,331 円
	福祉事業	13,077 円	12,235 円	842 円
	合計	984,388 円	994,155 円	△ 9,767 円

(2) 決算総括

- ◇ 令和3年度決算の実質収支は、収入5,233億円、支出5,298億円となりました。
- ◇ その結果、収支差引は65億円のマイナスとなりました。

(単位:百万円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
収 入	523,312	504,389	18,923
支 出	529,789	514,519	15,270
収 支 差 引	△ 6,477	△ 10,130	3,653

2 短期給付

短期給付は、医療保険及び介護保険に係る事業を行っています。

- ◇ 令和3年度は、財源率を改定しました(短期分80.1%→75.4%、介護分11.8%→18.0%)。
- ◇ 収入は、短期分の財源率の引き下げ等により減少しました。
- ◇ 支出は、新型コロナウイルス感染症の受診控えの解消傾向等により医療等給付支出が増加するとともに、介護納付金を含めた国の高齢者医療制度への拠出金も増加しました。
- ◇ その結果、収支差引は25億円のマイナスとなりました。
- ◇ 支出の内訳では、国の高齢者医療制度への拠出金(396億円)が、組合員等に対する医療等給付支出(376億円)を上回っています。

【短期給付の決算額】

(単位:百万円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
収 入	81,714	83,331	△ 1,617
支 出	84,259	78,814	5,445
収 支 差 引	△ 2,545	4,517	△ 7,062

- ◇ 組合員1人当たりの医療費は、新型コロナウイルス感染症の受診控えの解消傾向がみられたこと等から、令和2年度と比べて、22,300円(10.2%)増加しました。

【組合員1人当たりの医療費】

(単位:円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減	増減率
医療費	239,900	217,600	22,300	10.2%

3 長期給付

長期給付は、年金に係る事業を行っています。

- ◇ 年金給付による支出と掛金・負担金による収入は、ほぼ均衡していますが、国の各年金勘定への拠出金(厚生年金拠出金・基礎年金拠出金)が、同勘定から受け取る交付金(厚生年金交付金・基礎年金交付金)を大幅に上回っていること等から、最終的な収支差引は49億円のマイナスとなりました。
- ◇ 年金受給者数が増加傾向(近年はほぼ横ばい)にある中、財政を支える組合員数は平成19年度以降、年金受給者数を下回り続けています。

【長期給付の決算額】

(単位:百万円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
収 入	428,720	408,167	20,553
支 出	433,662	423,735	9,927
収 支 差 引	△ 4,942	△ 15,568	10,626

【年金受給者数・組合員数の推移】

(単位:人)

区 分	平成18年度	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度	令和3年度
年金受給者数	125,108	139,844	151,984	156,920	161,054	160,580
長期組合員数	133,891	125,500	121,768	120,598	123,665	125,887

4 福祉事業

福祉事業は、組合員等の健康の保持増進に必要な事業や、保健・保養などの事業を行っています。

【福祉事業に係る各事業の決算額】

(単位:百万円)

区 分	保健事業	保養事業	会館事業	貸付事業	計
収 入	4,241	128	1,442	200	6,011
支 出	3,202	165	1,248	178	4,793
収支差引	1,039	△ 37	194	22	1,218

(1) 保健事業

- ◇ 組合員等の健康管理や健康の保持増進を目的として、節目ドック(45歳・50歳)や女性ドックキャンペーンなどの「人間ドック利用助成」の実施のほか、運動習慣づくり支援としての委託体育施設利用、夏・冬季等の委託保健施設の借上げ、シティ・ホール診療所の運営等を実施しています。
- ◇ 委託保健施設借上げは、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季及び冬季の事業を中止した(夏季は2年度に引き続き中止)ため、2年度実績を大幅に下回りました。

【人間ドックの健診実績】 (単位:人)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
人間ドック	15,328	13,936	1,392

【委託保健施設稼働実績】 (単位:箇所、人、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
施設数	49	419	△ 370
利用人員	6,558	11,301	△ 4,743
稼働率	-	-	-

【健康づくり支援】 (単位:人)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
委託体育施設	152,416	125,735	26,681

【シティ・ホール診療所】 (単位:人)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
延べ患者数	20,248	21,868	△ 1,620

【特定健診・特定保健指導の実施状況】 (単位:人)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増(△)減
特定健診 (被扶養者等)	5,241	5,055	186
特定保健指導	5,250	5,269	△ 19

(2) 宿泊(保養・会館)事業

- ◇ 箱根路開雲(保養事業)は休業日数(2年度:緊急事態宣言等により145日間、3年度:改修工事により17日間)が減ったため、利用者数は増加しましたが、平年度並みの水準には至っていません。
- ◇ アジュール竹芝(会館事業)は新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ2年度実績からある程度回復してきているものの、元年度の実績には戻りできていません。

【箱根路開雲利用実績】 (単位:人)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較 増(△)減
箱根路開雲	14,468	9,312	5,156

(延べ利用者数)

【アジュール竹芝利用実績】 (単位:人)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較 増(△)減
宿 泊	46,017	38,403	7,614
婚 礼	410 (15組)	270 (9組)	140 (6組)
人間ドック (日帰り)	9,759	8,345	1,414
特定健診・ 特定保健 指導	529	508	21

(注) 宿泊は年間利用者数、婚礼は延べ利用者数、()は組数、人間ドック(日帰り)・特定健診・特定保健指導は年間利用者数

(3) 貸付事業

- ◇ 貸付事業は、平成25年度末で新規貸付を終了しました。

【貸付残高の状況】 (単位:百万円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較 増(△)減
貸付残高	10,925	13,977	△ 3,052

【問合せ先】
管理部財務課計理担当
☎03(5320)7311